

写真家・鄧南光の視界

—台湾から法政大学へ—

会期 2026年5月19日(火)～8月28日(金)

会場 ①HOSEIミュージアム・コア(九段北校舎1階)
②ミュージアム・サテライト市ケ谷(外濠校舎6階)

入場無料・予約不要

台湾写真史にその名を刻む写真家・鄧南光(本名・鄧騰輝)は1934年に法政大学を卒業しました。大学では戦前の学生文化が花開き、関東大震災からの復興を遂げた東京は「モダン」全盛期。カメラ部主将を務めた南光はライカを手に数々の写真を残しました。本展示では南光の故郷である台湾の新竹県北埔を紹介するとともに、南光のまなざしを通して、1930年代の法政大学と「モダン都市・東京」を再考します。

法大生時代の鄧南光
(北埔郷公所提供)

予告

9月・10月には本展示内容の規模を拡大した特別展示を開催します。

主催 HOSEIミュージアム
共催 新竹県北埔郷公所 鄧南光影像紀念館
協力 法政大学法学部福田円研究室

HOSEI ミュージアム
HOSEI UNIVERSITY MUSEUM
03-3264-6501(事務室) museum@hosei.ac.jp

休館日: 日曜日、月曜日、祝祭日
時間: 午前10時～午後5時(最終入場: 午後4時30分)

※詳細はミュージアムウェブサイト参照▶



開館日が変更となる場合がありますので、最新のスケジュールをご確認ください。

撮影家・鄧南光の視界—從台灣到法政大學